

2024年5月7日

## 内航 RORO 船「ふがく丸」を就航

### 新環境技術導入で環境性能が大幅向上

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井 辰夫）は、かねてより三菱造船株式会社下関造船所江浦工場で建造していた内航 RORO 船

「ふがく丸」が就航し、5月7日に名古屋港ガーデンふ頭で関係者向けに就航披露見学会を行いました。本船は、名古屋、豊橋、鹿児島、沖縄を結ぶ航路に就航します。



「ふがく丸」は、持続可能な社会の形成に貢献するためにフジトランスグループが策定した長期方針「フジトランス サステナビリティ ビジョン 2050」をもとに、カーボンニュートラルに向けた「環境にやさしい船」を目指し「旧ふがく丸」の代替船として建造されました。新技術の導入により、「旧ふがく丸」と比較し、CO2 排出量の約 30%削減が期待できます。

環境への取り組みに加え、近年のモーダルシフトの需要にも対応し、皆さまのニーズにお応えする高品質なサービスを提供してまいります。

【ふがく丸 概要】

導入された環境技術

- 環境技術① 垂直船首（推進抵抗低減） 【当社初導入】
- 環境技術② 特殊船尾（推進抵抗低減） 【当社初導入】
- 環境技術③ 煤煙飛散防止フィルター（港内での排気口からの煤煙飛散防止）
- 環境技術④ バルブ付きリアクション舵（推進抵抗低減）
- 環境技術⑤ 高効率 5 翼ピッチプロペラ（推進効率向上）
- 環境技術⑥ 低摩擦船底塗料（推進抵抗低減）
- 環境技術⑦ 電子制御主機関（エンジンの最適駆動制御による燃料消費低減）
- 環境技術⑧ 陸上電力受電装置（着岸中の船内発電の抑制） 【当社初導入】

※三菱重工業㈱等の省エネ関連特許

総トン数	12,818 トン
載貨重量	5,800 トン
全長	165.0m
航海速度	21.0 ノット
積載能力	シャーシ 56 台 乗用車 1,483 台

